

新型コロナウイルス感染症の病態理解と治療法検討のための多施設共同研究

2020年1月から2022年3月までに新型コロナウイルス感染症の治療を受けた患者さん

研究協力をお願い

当科では「新型コロナウイルス感染症の病態理解と治療法検討のための多施設共同研究」という研究を行います。この研究は、2020年1月1日から2022年3月31日までに日本医科大学多摩永山病院にて、新型コロナウイルス感染症の診断を受けた方を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の間い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：新型コロナウイルス感染症の病態理解と治療法検討のための多施設共同研究
対象期間：2020年8月15日～2026年7月31日
研究責任者：日本医科大学多摩永山病院 救命救急科 田中 知恵

(2) 研究の意義、目的について

新型コロナウイルス感染症は、新しい疾患であり、今後の治療戦略を考えるにあたり、未だに多くのことが解明されておられません。本研究では、全国の多くの病院と協力して、新型コロナウイルス感染症症例のデータベースを構築し、未解明研究課題を早急に解決することを目的としております。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2020年1月1日から2022年3月31日までに日本医科大学多摩永山病院を退院された方の中で、新型コロナウイルス感染症の確定診断をされた方を対象としております。全国の多くの病院にも参加を募り、データを収集し、疾患の病態や治療法の解明、必要となる医療コストなどを解析します。今後本邦での、新型コロナウイルス感染症の治療戦略を検討する上でも、極めて貴重な研究データになることが予想されます。
この研究は、患者さんの以下の情報を用いて行われます。
情報：年齢、性別、血圧値、脈拍値、治療薬、血液検査データ（肝機能、凝固系指標等）、医療費

(4) 共同研究機関（試料・情報を利用する者の範囲および試料・情報の管理について責任を有する者）

研究代表機関：日本医科大学武蔵小杉病院 救命救急科
研究全体の責任者：日本医科大学武蔵小杉病院 救命救急科 講師 田上 隆
その他の共同研究機関：大阪医科大学附属病院 救急医療部、済生会宇都宮病院 救急・集中治療科、東京医科歯科大学医学部附属病院 救命救急センター科など

(5) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(6) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(7) 問い合わせ等の連絡先

担当者：救命救急科 田中 知恵
日本医科大学多摩永山病院 倫理委員会事務局
〒206-8512 東京都多摩市永山1丁目7-1
電話番号：042-371-2111（代表） 内線：2302
メールアドレス：nagayama-chiken_center@nms.ac.jp